



日本共産党文京区議会議員
 mandatedachi 幹夫 通信
 2010年5月14日号 No.146

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



白山東、指ヶ谷、柳町第2、柳町 小学校児童数の増加を考えれば、やはり施設が足りません。

小石川・白山地域の育成室増設が待ったなしです
育成室は「寿司づめ」状態。安心して子育てできる環境を。来年度から小石川白山エリアでの増設を

今年の一月現在で、柳町と柳町第二育成室の在室児（新2、3年生）と新1年生の入室希望者は合わせると120人余。
 小学1〜3年生の児童のうち育成室を希望する割合が増え続けています。区内に26か所ある育成室は、そもそも定員が40人。それを「暫定措置」で44人、そして50人に、とうとう柳町第二は今年56人となりました。それでも入室待ちする「待機児童」が生まれていきます。
 先日柳町第二育成室を訪問したら、備え付けの子どもたちのロッカーが足りなくなり、追加のカラーボックスが置かれていました。隣の柳町育成室も、

ロッカーは室内から廊下に移動されました。柳町エリアには、前述のようにもう1か所増設が待ったなしです。
 育成室は「第二の家庭」。学校から「ただいま！」と帰り、宿題をやり遊び、指導員の先生となんでも相談できる貴重な場です。私の子どもたちも足掛け6年お世話になりました。
 区児童課は、礪川小学校区内に適当な場所がないか考えているようです。ぜひみなさんのご意見、ご提案をお寄せください。



「応援していますよ!」「ほんとうに米軍基地はなくせるの?」などなど

「ピラをください!」 振り向くと小学生でした。塾にでも行く途中でしょうか、受け取った普天間問題のピラを読み始めます。やはり関心が高いのですね。日曜日の午後、西片・白山地域での宣伝での一コマ。また「ほんとうに基地はなくせるのですか?」という質問にも遭遇。すかさずKさんは、「志位さんは訪米してこうやって米政府と交渉してるんですよ」と「赤旗」日刊紙を示して話そうとなくしていました。



読み方も堂に入っています

普天間問題を通じて、さらに「民主も自民も同じ」が国民に見えてきます。

- 6日 小竹都議事務所での法律相談に同席。今週は4件。相談し終えた後のホッとした表情を見ると救われる感じ。また債務の処理や交通事故の対応など、実に勉強になります。
 - 8日 養生会の支部総会に。食事をしながら地域医療、介護について話し合いましたが、少し時間が足りません。つぎは総代会で。
 - 9日 午後、西片から白山地域にかけて、6人でハンドマイク宣伝、訪問活動。静かな町に宣伝が染み込んでいきます。
- 「共産党はなぜ支持率が上がらないのかしら?」とか「共産党はないと困る政党だ」...など貴重な意見もいただきました。

まんぢん日誌